



中札内村 酪農女性グループ 「だigoの実」

酪農家の女性たちが、村内の小学校を対象に酪農体験を自ら企画し運営
牛乳の消費拡大に向け家族や地域も協力



中札内村の酪農女性グループ「だigoの実」では、2006(平成18)年より「もうモウ体験」という酪農体験を実施しています。牛乳の生産調整を受けたことに端を発し、牛乳の消費拡大を図るため、この活動を開始しました。「牛を知る。牛乳を知る」をテーマに、中札内小学校(毎年開催)と上札内小学校(2年に1回中札内小学校と合同開催)に企画を提出し、小学校と協議した上で行います。

経費や助成金、企画内容などは村の機関でサポートしています。加工体験は、だigoの実の会員9名が小学校の家庭科室で実施。牧場体験は会員の牧場を使用し、会員や夫たちなどがサポートします。

サポーター
紹介

だigoの実

メンバー 会員及び会員の夫18名

メンバーの確保方法 会員などの関係者のみで活動



活動内容

- 「もうモウ体験」※2日間(加工体験と牧場体験)実施
加工体験……牛乳の栄養の話、牛乳から作られる製品の話、クイズ、バナナのミルクセーキ作り、紙パックを活用した帽子作りなど
牧場体験……牛が大きくなるまでの話(仕掛け絵本)、牛舎見学、子牛への給餌、クイズなど

特記事項

- 「もうモウ体験」に係る経費負担(中札内村酪農振興会)
- 体験の受入牧場への助成(中札内村)
- 「もうモウ体験」の企画へのアドバイス(十勝農業改良普及センター)



サポーターの声

「だigoの実」会員

自分たちで企画・運営する体験にやりがい

「だigoの実」は2003(平成15)年に、酪農家の女性たちで、酪農に関する知識や技術の習得が目的の学習グループとして結成されました。現在は「もうモウ体験」を、特にたくさん牛乳を飲んでほしい小学生に対して行うことに大変やりがいを感じています。私たちはミルクセーキ作りなどを教えることができ、夫たちは牛の移動や、ほ乳体験

のときに牛を押さえるなど、危険で力のいる作業を積極的にサポートしてくれます。企画・運営をすべて会員で行うことは負担も大きいです。毎年体験した子どもたちに感想を聞いて次年度に役立てています。これからもがんばって続けていきたいと思っています。

ここに連絡!

十勝農業改良普及センター

電話 0155-67-2291